

記者発表資料

令和4年6月2日

宮城県教育庁文化財課

担当：遠藤（022-211-3683）

e-mail：endo-ke849@pref.miyagi.lg.jp

宮城県指定無形文化財「^{しょうあいぞめ}正藍染」 —「^{さきぞ}先染め」による麻の着物制作—

宮城県指定無形文化財「正藍染」の技術保持者である千葉まつ江氏（92）が、昨年引き続き今年も「先染め」をおこないます。

正藍染は、自然発酵のみにより藍を建て昔ながらの染色技法で、藍玉による日本最古の染色技法といわれています。

染織の方法には大きく分けて、糸を染めてから織る「先染め」と、布にしてから染める「後染め」がありますが、近年では手間と費用がかかる「先染め」はほとんどおこなわれなくなっていました。



昨年度は、京都の呉服店の依頼を請け、10年ぶりに「先染め」がおこなわれました。今年度は、着物を仕立てるため、同じ方法で追加の糸を染めます。報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いいたします。

なお、感染症対策に十分配慮したうえで、取材いただきますようお願い申し上げます。

染色担当：千葉 まつ江 氏（宮城県指定無形文化財「正藍染」技術保持者）

千葉 正一 氏（技術後継者）

実施予定日時：令和4年6月8日（水）12：30より

実施場所：正藍染千葉家工房（〒989-5361 宮城県栗原市栗駒文字鍛冶屋112）

※当日の詳細についてのご質問は下記までご連絡ください。

問い合わせ先

（本事業に関すること）和心にしおか 代表 西岡裕史

〒611-0028 京都府宇治市南陵町四丁目1-39 TEL：090-3276-3951

（正藍染に関すること）宮城県教育庁文化財課 保存活用班 担当 遠藤

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 TEL：022-211-3683